

## 8. 新潟県の地域連携に対する新潟大学の協力

～新潟大学地域連携フードサイエンスセンターの取り組み～

### 1 新潟大学地域連携フードサイエンス・センター

#### 1.1. 地域連携に関する情報交換

新潟大学地域連携フードサイエンス・センターは新潟県の主要産業である食品産業の発展を目指して作られた。その活動内容は新潟大学の部局を超え、全学協力体制で食品関連科学の教育研究拠点を形成すると共に、新潟県や食品関連企業との共同研究を推進する。主な開発の概要は

- (1) 食品関連分野での産学連携共同研究の促進
- (2) 食品関係大型競争的研究資金の獲得
- (3) ブランド・ニイガタ食品開発研究会の開催
- (4) 企業視察会の開催
- (5) 産学連携企画への参加（シーズプレゼンテーション、産学交流フェア in にいがた、等）
- (6) シリーズ講演会「食品のバイオサイエンス・テクノロジー」の開催
- (7) ホームページの運営、他

となっている



新潟大学農学部

#### 1.2. 新潟大学地域連携フードサイエンス・センターの概要

地域連携フードサイエンス・センターは平成15年から活動をスタートさせ、平成17年には新潟大学コア・ステーションとして認定された。その主な活動内容を表1に示した。

現在、新潟県では超高压技術を基幹産業に発展させようと大きなプロジェクトが進行中であるが、本技術が日の目を見るようになったのは実は最近のことである。超高压技術が全国的に注目され、研究が盛んに行われたのは20年前まで遡る。その後、実用化の点でいくつかの課

題がクリアされず研究から撤退する企業が相次いだ。新潟の民間企業が地道に研究を続け今日に至っている。その地道な研究を古くから支えてきた一人が新潟大学農学部の鈴木敦士学部長である。

1989年1月「超高压の食品等への応用に関する研究会」が新潟県で発足し、新潟県食品関連企業13社と新潟大学、県女子短期大学、県食品研究所、県醸造試験場が名を連ねた。そして、5年後の1994年に高圧バイオサイエンスという雑誌に研究会の活動状況の概要が報告されているが、それをみると表2のようになっている。

このようにいくつかは高圧処理による効果は確認できていたようだ。当時効果検討中ということで成果が明確でなかった米の吸水や糊化の影響については、先に述べたように、現在では無菌米飯や新たな調理技術へと用途の幅が広がり、更には海外への輸出技術として高度な技術へと発展してきた。

表1 地域連携フードサイエンス・センター活動内容

項目	内容
◎産学官連携システム構築	
1.組織連携	・新潟県食品研究センターとの連携 ・長岡技術科学大学、新潟薬科大学との連携
2.研究会・セミナー	・先端技術研究会 ・シリーズ講演会[食品のサイエンステクノロジー] ・新潟県食品技術研究会 他
3.企画・イベント参加	・新潟大学研究シーズプレゼンテーション 他
◎プロジェクトの実施	
1.競争的資金の獲得	・サテライトベンチャービジネスラボラトリー
2.企業個別PJ	・共同研究、受託研究受入
◎ホームページ	

表2 研究課題と成果

課題	成果
<b>高圧処理による食肉の軟化・熟成の促進</b>	<b>肉の軟化と熟成促進効果の発見</b>
味噌性状への影響	品質と殺菌効果検討中
魚肉練り製品への高圧利用の可能性	効果の可能性検討中
各種食品および包装漬物への影響	効果の可能性検討中
<b>米の吸水、糊化への影響</b>	<b>交換の可能性検討中</b>
酵母エキスの製造	技術的効果は確認
高圧処理ソーセージの品質	効果の可能性検討中
その他	殺菌・静菌の基礎研究



西海理之助教授(左)と鈴木敦士学部長(右)

## 2 地域連携と新潟大学のかかわり

鈴木部長は今年度で新潟大学を退官され、高圧処理技術の研究は西海教授が後を引き継ぐことになる。新潟県における高圧処理技術の草創期を支えてきた鈴木部長や当時の関係者と同様に、西海教授他の研究者が新潟県の企業をサポートしていく熱い気持ちは変わらないと感じた。

新潟県は比較的産学官の連携がうまくいっているように思われる。大学、県の研究機関、民間企業がそれぞれの業界で連携し、また異なる業界間との連携を通して、しっかりとスクラムを組んでいるように見受けられた。さらにそこには必ずキーマンとなる人の存在があることにも気づかされる。形だけのクラスターではなく精神的なつながりを持ったクラスター形成の重要性を示唆しているように思われる。

新潟大学は地域連携フードサイエンスセンターを立ち上げ取組みを進めているが、民間企業に対してはニーズを見据え形式的なものに陥らず、技術的・精神的にかかわっていくことを期待したい。

(文：(有) 食品環境研究センター、新蔵 登喜男)

\* (社) 食品需給研究センター客員研究員

